

平成24年6月22日  
宇都宮水源林整備事務所

## 彩の森づくり2012に参加して

去る平成24年6月16日（土）栃木県矢板市の山縣農場において、NPO法人のMORIMORIネットワーク、（財）山縣有朋記念館の主催で植樹と子供達への森林学習などを行う「彩（アヤ）の森づくり2012」が開かれました。森林農地整備センター宇都宮水源林整備事務所も主催者に協力して参加しました。当日は、小雨の降るあいにくの天気でしたが、木々にとっては恵みの雨となり、東京などの各地から一般公募の100名近くの方々が参加し、広葉樹（イロハモミジ、ヤマザクラ等）の植樹、篠笛演奏とNPO指導者による子供達の森林学習が行われ、参加した子供達にMORIMORIネットワーク代表の山縣睦子さんから「子ども樹木博士」認定証（1級、2級、3級）を授与されました。



写真. 植樹の様子



写真. 植樹の様子

第3代の内閣総理大臣等を歴任した山縣有朋氏が、明治時代から上伊佐野（かみいさの）を開拓し、地元と共に森林と農場、那須疏水（用水路）の整備をしたことで、この風光明媚な水田と自然に恵まれた水源林ができました。



写真. 山縣代表のあいさつ



写真. 植樹後の記念撮影

森林内での植樹を終わり、山縣記念館の庭で横笛奏者（鯉沼廣行氏ほか）の篠笛を聞きながら、小雨にけむる幻想的な世界に浸りました。その後、水源林からの豊かな水に育まれた地元産の米と野菜等を使った料理で昼食会が行われました。

この日は、山縣睦子さんの米寿の祝いもあり、MORIMORIネットワーク副代表である俳優、司会者で有名な芳村真理さんの司会で盛り上がり、全国各地から林業経営者（マルマタ林業 合原真知子他）などの参加者、NPO法人のスタッフも参加し、林業経営、森林整備について交流ができました。

当日は、宇都宮事務所の職員も朝早くから準備等に参加し、交流会の時間を利用して水源林の重要性等の説明を行い、樹木の漢字当てクイズを行いました。漢字当てクイズは大人から子供まで積極的に参加し、盛り上がり楽しい交流会となりました。



写真. 事業説明の様子



写真. 木への漢字当てクイズの様子

宇都宮水源林整備事務所では、今後も地域の活動に参加し、水源林の重要性などを一般の方々にも普及していく考えです。

